

【小平市】胃がん検診（胃部エックス線検査）平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

| | |
|--|-------|
| 対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可 | している |
| 検査方法（胃部エックス線検査） | している |
| 検査方法（胃内視鏡検査） | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|--------|--------|--------|
| 該当年齢の人口 | 35,820 | 41,061 | 76,881 |
| 【東京都調査による対象者率（市町村部）：56.4%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 877 | 1,082 | 1,959 |

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 4.3% | 4.7% | 4.5% |
| 要精検率 | 11%以下 | 9.1% | 13.1% | 11.3% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 92.5% | 90.8% | 91.4% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 6.3% | 9.2% | 8.1% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 1.3% | 0.0% | 0.5% |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上 | 1.3% | 0.0% | 0.5% |
| がん発見率 | 0.11%以上 | 0.11% | 0.00% | 0.05% |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|--------------|
| 対象年齢以外の実施 | 胃部X線(35～39歳) |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

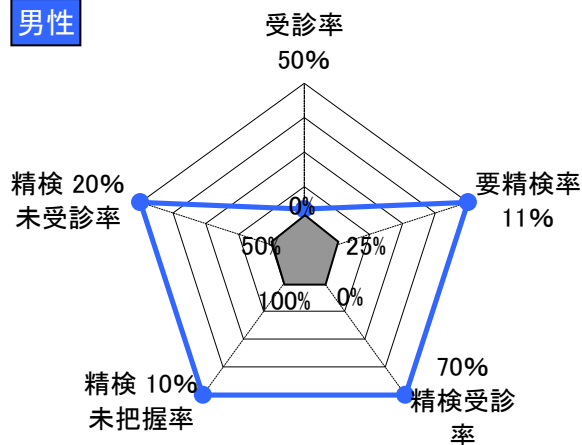
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

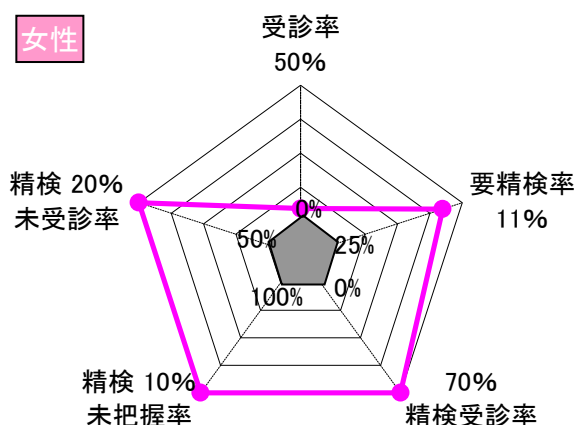
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

【小平市】 肺がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

| | |
|---------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|-----------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 51,185 | 55,718 | 106,903 |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部): 63.5%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 1,455 | 2,337 | 3,792 |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

※<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 4.5% | 6.6% | 5.6% |
| 要精検率 | 3%以下 | 1.1% | 0.6% | 0.8% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 87.5% | 92.9% | 90.0% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 6.3% | 0.0% | 3.3% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 6.3% | 7.1% | 6.7% |
| 陽性反応適中度 | 1.3%以上 | 12.5% | 0.0% | 6.7% |
| がん発見率 | 0.03%以上 | 0.14% | 0.00% | 0.05% |

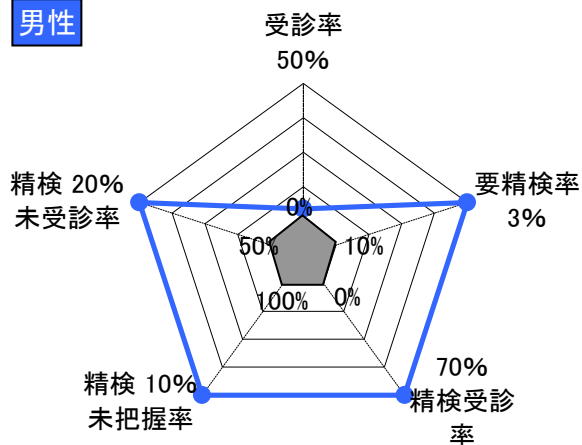
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

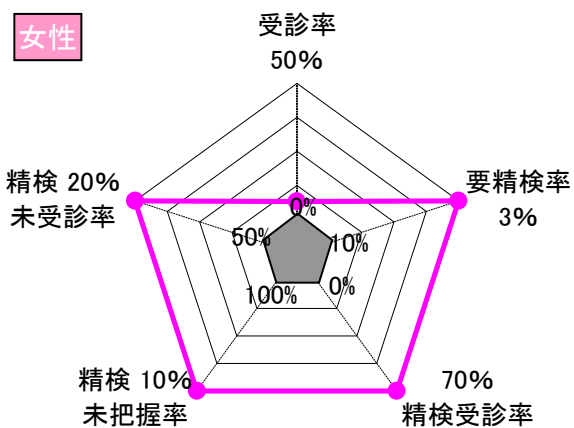
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

【小平市】大腸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

| | |
|------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（便潜血検査（二日法）） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|--------|
| 対象年齢以外の実施 | 35～39歳 |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 51,185 | 55,718 | 106,903 |
| 【東京都調査による対象者率（市町村部）：59.6%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 6,292 | 9,895 | 16,187 |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 20.6% | 29.8% | 25.4% |
| 要精検率 | 7%以下 | 7.1% | 4.8% | 5.7% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 58.0% | 65.1% | 61.7% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 37.8% | 28.2% | 32.8% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 4.3% | 6.7% | 5.5% |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上 | 5.4% | 5.7% | 5.5% |
| がん発見率 | 0.13%以上 | 0.38% | 0.27% | 0.32% |

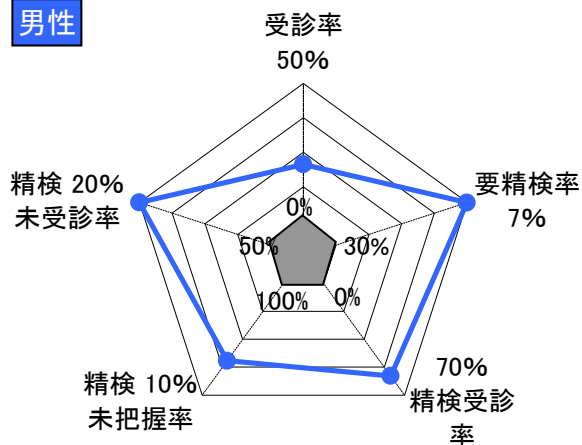
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

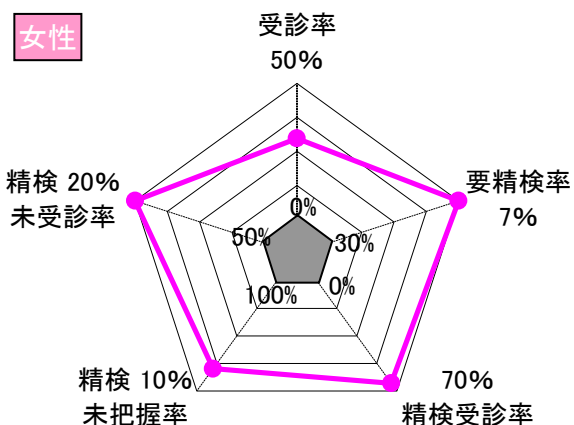
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

【小平市】子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（20歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（細胞診） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 78,840 | |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部)：60.4%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 3,697 | |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 15.3% | |
| 要精検率 | 1.4%以下 | | 1.5% | |
| 精検受診率 | 70%以上 | | 74.1% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 25.9% | |
| 精検未受診率 | 20%以下 | | 0.0% | |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上 | | 1.9% | |
| がん発見率 | 0.05%以上 | | 0.03% | |

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

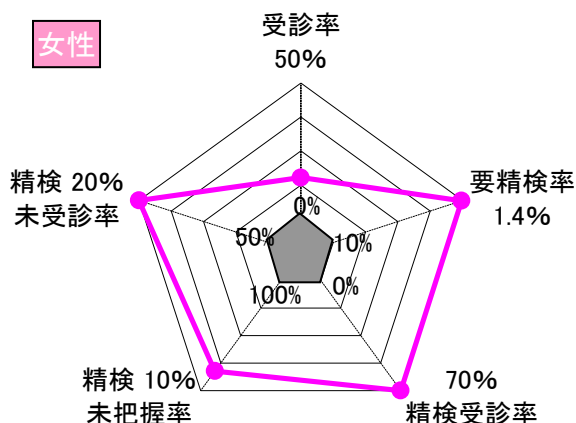
<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

女性



【小平市】乳がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（40歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（マンモグラフィ） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|---------------|
| 対象年齢以外の実施 | 30～39歳、毎年 |
| 左記以外の検査の実施 | 視触診のみ(上記年齢対象) |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 55,718 | |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部)：63.9%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 4,270 | |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 21.9% | |
| 要精検率 | 11%以下 | | 10.3% | |
| 精検受診率 | 80%以上 | | 87.3% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 12.7% | |
| 精検未受診率 | 10%以下 | | 0.0% | |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上 | | 3.6% | |
| がん発見率 | 0.23%以上 | | 0.37% | |

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

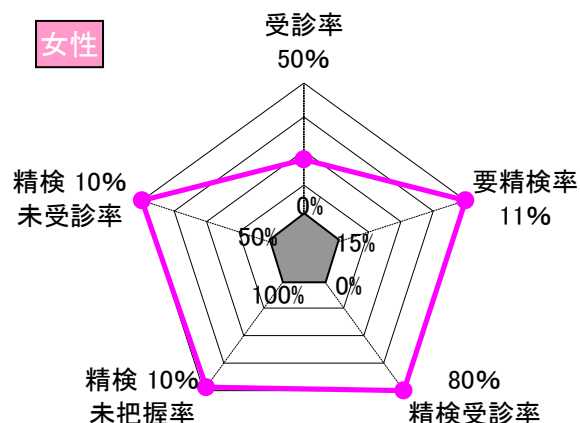
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。



<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。